

医学研究へのご協力をお願い

医学研究に使用する検体を提供して下さる方を募集しています
(炎症性腸疾患に興味をお持ちの方、検体提供で医学に貢献して頂ける方など)

研究題目：「炎症性腸疾患を有する小児における便中カルプロテクチンの
臨床的有用性の検討」

研究目的：便中カルプロテクチンは、便の中に含まれる白血球由来の蛋白質で、腸に炎症があるとその値が上昇するとされています。成人での有用性は報告されていますが、日本人の小児での有用性はわかっていません。本研究では、0歳以上18歳未満の炎症性腸疾患の患者さんと消化器症状のないお子さんの便中カルプロテクチン値を比べてみることで、小児における有用性の検証を行います。

実施時期：倫理審査委員会承認後～2021年3月

実施施設：・国立成育医療研究センター
・順天堂大学医学部小児科
・埼玉県立小児医療センター
・札幌医科大学消化器内科・小児科

実施責任者：清水 泰岳（国立成育医療研究センター・消化器科）

研究に使用する検体：便

対象者：生来健康で慢性腸疾患を指摘されたことがなく、下痢や血便、腹痛などの消化器症状を伴わない18歳までのお子さんです

研究にご協力頂ける方は、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先

国立成育医療研究センター 消化器科

清水 泰岳

Tel:03-3416-0181（内線：7198）